



つじ みつこ
辻 美津子

しみんくらぶ
市民クラブ

久居駅周辺の整備について

問 (仮称)津市久居ホールの施設整備の進捗状況および今後の進め方は。

久居駅西口の整備について、停止中の噴水の撤去およびバス待合室内の市民ロッカースペースの有効な活用策を考えてはどうか。

現在、休館中の久居市民会館の取り壊し予定と、その跡地利用の具体的な検討はされているか。

答 (仮称)津市久居ホールについて、本年度は劇場等の専門家による有識者委員会を設置し、施設規模や機能等の検討を進め、同時に現久居庁舎および同駐車場用地の土地調査を進めていく。

久居駅西口の噴水については、故障により稼働できず修繕も不可能なため、本年度中に撤去し、その跡地については、ポルタひさいの利用者や周辺景観を考慮した整備を行う。

市民ロッカーについては、久居の観光や特産品などのPRを目的に設置されたが、現在十分な利用がないことから、今後の取り扱いについて検討していく。

久居市民会館の取り壊しについては、平成27年度に着手予定であり、その跡地利用については、久居駅周辺地域全体の整備計画の中で検討している。

●その他の質疑・質問●

○建設中の新斎場の利用料金、周辺対策について

○教育施策について

・土曜授業への取組、不登校児童、引きこもり児童の現状は

○榊原温泉振興について

・活性化策への取り組みは

○農林業問題について

・新規就農希望者相談窓口は

○市営住宅等の整備について

・市営住宅の整備計画は など



▲新斎場は地域貢献の観点から積極的に地元雇用の推進を



にし やま
西山 みえ

けんとくらぶ
県都クラブ

特別支援教育について

問 平成19年4月から始まった特別支援教育。

障がいのある児童・生徒への支援充実のため、特別支援教育支援員の活用がなされている。

教育現場における取り組みや支援員の研修、そして乳幼児から未来に向けての途切れのない子どもの成長に応じた支援の在り方について、教育と福祉、それぞれの立場における考え方は。

答 教育委員会では、効果的な支援が行えるよう、支援員を対象に障がいの特性理解や担任との効果的な連携方法についての研修を行っている。また、各校園では校内支援委員会を組織して医療、福祉等の外部専門機関との連携を行い、支援員と担任が日々情報を共有するなど、より良い支援に取り組んでいる。

子どもに対する発達支援の取り組みとしては、専任の保健師、保育士、指導主事等の巡回相談による助言や指導、保護者へのサポート、少人数での療育を行い、保育所・幼稚園等への引き継ぎも行っている。今後も、子どもの成育歴や医療などの情報を記載する「はっぴいのーと」を活用し、関係機関と連携しながら、成長に応じた適切で途切れのない支援を行っていく。

●その他の質疑・質問●

○文化ホールについて業務管理運営企画は市民のために分かりやすい安心安全なものにすべき

○統廃合後の学校備品の処理は市内広域に配分して活用すべき

○認知症資源マップの取り組みにおいて、津市の現在の対応は進んでいるのか

○農業用ため池の調査状況と改修計画について。地域への説明責任の必要性は など



▲住宅や野鳥と共生するため池